

元気再生! フルパワーあおもり



三村申吾

PROFILE

生れ
昭和31年、上北郡百石町
(現おいらせ町)に生まれる学校
八戸高校から、東京大学卒業仕事
文芸の編集者
百石昌子(当時日本一若い
首長)、衆議院議員
平成15年、青森県知事家族
妻/三千代 子供/二男一女

三村申吾選挙事務所

青森市東大野2-4-29 TEL 017-752-6350 FAX 017-762-6635 ●三村申吾ホームページへどうぞ <http://www.gogo-shingo.jp/>みむらしんご
三村申吾

東日本大震災によつて、青森県の経済・社会システムは未曾有の危機を迎えていました。危機の時こそ、政治家に求められるのは「決して」ことない果断な政策実行です。

震災復興・防災あおもり

「私の最大の責務は、県民の生命と財産を守りぬくこと」あります。この思いに立ち、生活再生・産業復興に、そして危機管理体制強化や防潮堤・避難道路など思い切ったハード整備と共に防災のソフト対策にも取り組みます。

教育、人づくりあおもり

「人財をめざすあおもり、未来輝くあおもり」をめざしきめ細やかな教育の推進や、人づくり戦略の先進地・あおもりをめざします。

産業・仕事あおもり

「産業・雇用の元気があおもりの元気の源」との認識のもと、攻めの食産業戦略やさらなる企業誘致・創業・起業地場企業の元気化・新エネルギー開発そして、観光の活力創出にも全力であたります。

安全・安心、健やかあおもり

「安心して生きられる真に豊かなふるさとあおもり」をめざさし、さらに医師を増やすがんと闘う仕組みづくりや健康寿命のアップをはかります。また子どもたちがすくすく育つ勢勢づくりもしっかり進めます。

員会を立ち上げます。

行政基盤安定あおもり

財政規律を守り、6つの県民局と市町村の協働で地域活性化を全力で進めます。

今、政治に求められるのは決意と覚悟。三村申吾は、震災からの復興そして青森の元気再生にこれまで以上に全力で取り組みます。

員会を立ち上げます。

やまうち
山内たかしよしまだ 洋
よしまだ 洋

未曾有の大震災と原発事故に心が痛みます。
命と地域を守る政治が今は必要な時はあません。
「青森県は大丈夫か?」――地震があつても原発事故は起きない」としてきた青森県政に根本から問題を投げかけています。

医療や介護など貧困な福祉、雇用や地域産業の深刻さは、これまでのやりでは立ち行きません。

私は、何より県民の声を第一に、県民の願いを寄り、県民之力をあわせて希望ある県政に変える決意です。

●1974年生まれ●八戸工業大学
卒業●青森県書記長、県民運動
責任者●国政選挙に2回出馬

37歳

県政刷新 あおもりを変える!
8年間の停滞を打ち破る!

政治はリーダーシップと実行力

AOMORI needs CHANGE

青森の再生復興に向けて
ふるさとを守る。
再生青森。
復活日本。
がんばろう青森。

平成3年度県予算の全面見直し、事業仕分けを行なう。
電源三法交付金・核燃料税を震災対策、雇用対策、社会基盤分野へ重点活用。
破綻したクリスマスパレード構想の徹底検証とトーアイエスへの県費投入(一九億円)の即時見直し。

<http://www.t-yamauchi.net/>

財源はあります!

- ・県経済再生、雇用拡大の主役は地元中小企業です！
- ①信託保全枠の縮減化と負担保証(保証融資の拡大)
- ②中小企業二重ローンの解消(借入金返済期の延長)
- ③雇用調整助成金・強力運用による雇用創出(就業促進)
- ④失業者の高い若年就労支援(職業マッチング、技能習得等)を担う産官連携組織の制度化
- ⑤地域医療再生手段の特区構想(医療の推進)により医療を核とした発展圏形成をめざす。

子育て支援を全国水準へ！

- ①小・中学生の医療費無料化を進める
- ②小・中学生の就学援助と県費導入
- ③保育料削減のため、保育補助復活
- ④学校耐震化100%を達成

原発・防災を見直し、震災復興、いのちと産業・雇用をまもる

希望ある青森県へ3つのチェンジ

原発依存から県民を守る県政へ

原発・核燃は「重大事故」をおこす、「未完成で危険をばらんだ技術」は「重大事故」をもたらす原発政をエラクします。

原発事故、大津波をふまえた県防災計画に変更します。

稼動中の東通原発は、新しい安全基準で総点検させます。

原発の新增設再処理工場の運転は中止せます。

太陽光・風力・水力・自然などの自然エネルギー開発を大にすすめ、計画的に原発ゼロへの道を国に求めます。

胆にすすめ、計画的に原発ゼロへの道を国に求めます。

原発・企業誘致依存が基本の県政では、雇用も地域の産業もよくならないことは、現実が証明しています。

●住宅リフォーム制度を充実し、地元業者の仕事をふやし、3億円の仕事・6億円の経済効果をめざします。

●公共施設の耐震化、生活環境や除雪対策など生活に密着する仕事をふやし、地元企業T・P・Pに反対し、地産地消の促進、米穀対策、後継者育成の支援をめざします。

●農林漁業は青森県の中心業界TPPに反対し、地産地消の促進、米穀対策、後継者育成の支援をめざします。

●青森の「自然」・歴史」「温泉」「祭り」を生かし、滞在型や保養型の観光を含めて、新たな可能性を引き出します。

青森の力を生かす産業と雇用を

- 震災による「復興支援」とともに、福祉を削り負担を押しつけてきた県政から「福祉のネットワーク」を再生します。
- 震災復興は、生活と住宅再建、港の復旧や漁船の確保など、被災者の要望にそって、国とともに全力で支援します。
- 介護保険・利用料を減らし、特養ホームなど介護基盤整備をすすめ、「待機ゼロ」の安心できる介護をめざします。
- 医師・看護師の待遇を改善して仕事をしやすい環境をつくるなど、地政課税を再生します。
- 子どもの医療費無料化、低収入世帯住宅、青年雇用奨励金創設など、若者と子育て世代の生活と雇用不安を解消します。

この政策に、ご感想、ご意見をお寄せください。TEL: 017(722)5221 FAX: 017(722)5224 メール: jcpan@wishes.ocn.ne.jp

この選挙公報は、くじを引いて掲載順序を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

投票日6月5日(日)



投票時間

午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますので、ご注意ください。



投票の方法

(期日前投票・不在者投票と選挙当日の投票は投票の方法が異なります。)

☆期日前投票・不在者投票の投票方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事(職業、身分、住所又は敬称の類を記載したものを除く。)を記載した場合、その投票が無効となることがありますので、ご注意ください。

☆選挙当日(6月5日)の投票方法

投票日当日の投票は「記号式投票」によって行われます。投票用紙(白色)にあらかじめ候補者の氏名が印刷されていますので、投票者は、投票しようとする候補者の氏名の上の欄に○のスタンプを押すか鉛筆で○を付して投票してください。

○の印やスタンプ台は、各投票所に備え付けられていますので、これを利用してください。

※ ○の記号以外のものが書き込まれたりすると、その投票は無効になりますので、ご注意ください。



期日前投票

(5月20日(金)～6月4日(土)、午前8時30分～午後8時)

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。



県内で住所を移した場合

平成23年2月19日以降に県内の他の市町村から転入してきた有権者の方は、以前お住まいの市町村で投票することになります。

その場合は、現在住んでいる市町村又は以前お住まいの市町村のいずれかから、「引き続き同一の都道府県の区域内に住所を有する」旨の証明書の交付をあらかじめ受けて、投票するときに提示することが必要になります。

詳しい手続きについては、現在お住まいの市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

- 投票時間を変更している投票所、期日前投票所とその投票を行うことのできる日時、不在者投票を行うことのできる指定施設等については、青森県選挙管理委員会のホームページ(<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/senkan/>)をご覧ください。